

採血を受けられる皆様へ

採血は血液検査に必要な手技

「採血」は体の状況を知るために行う医療行為です。

血管に針を刺して血液を採取しますので痛みを伴うことがありますが、採血は基本的には安全性の高い手技です。しかし、まれに合併症（併発症）が起きることがあり危険性を伴うことがあります。

採血から得られる情報量の多さから是非とも受診していただきたい検査ですが、このように「採血」には有益性・危険性があることをご理解いただきますようお願い申し上げます。



ご協力のお願い

「安全に」「間違いなく」おこなうために、次のことをさせていただいております。

円滑に採血するためには、受診者様のご協力も必要となりますことを何卒ご理解ください。

ご本人確認

「血液の取り違い防止」のため、一緒にラベル氏名をご確認いただいております。



採血の中止について

以下に該当する方は採血することができません。

- ◆両側乳房切除を行った方
- ◆血管が細く採血困難な方（3回まで採血を試みますがそれ以上は中止とします）
- ◆血管壁が弱く両腕に紫斑が多くある方
- ◆足からの採血は致しません。

下記に該当する方は採血スタッフまでお申し出ください

- ◆これまでに採血で気分が悪くなった方
- ◆健診当日の体調が優れない方
- ◆乳房切除を行った方
- ◆消毒薬（アルコール）や手袋（ラテックスなど）にアレルギーのある方
- ◆血液の流れをよくする薬を服用中の方
- ◆その他採血について、ご希望や不安のある方

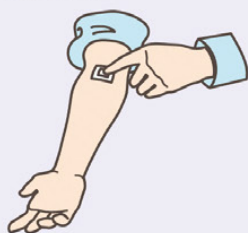
採血に伴う合併症について

採血は基本的には安全な手技ですが、まれに合併症を起こすことがありそのほとんどは軽症なものです。

しかし、極まれに次のような健康被害を生じることがあります。

止血困難・皮下血腫

採血針を抜いた後の圧迫止血が不十分なときに起きることがあります。5分間しっかりと針を抜いた跡を押さえてください。特に、ワーファリンなど血液サラサラの薬を服用している方はご注意ください。



血管迷走神経反射

緊張や不安が強い時、採血前に起こることもあります。神経が興奮し急激な血圧低下により、めまい、気分不快感、意識消失などを起こすことがあります。



アレルギー

消毒に使用するアルコールやスタッフの手袋（ラテックス）により、かゆみや発疹などのアレルギー症状が出る方がいます。



神経損傷

採血時手先（遠位方向）に放散する痛みがある場合に神経損傷が考えられます。皮膚表層の皮神経（知覚神経）の損傷を100%防止することは困難ですが、太い神経を損傷する可能性は低く、多くの場合は症状が軽く1週間程度で改善します。



以上、お読みいただいたとおり、採血には合併症があります。合併症についてご理解いただき、採血検査実施に同意いただいたと理解して採血を実施いたします。

採血には細心の注意を払って行いますが、採血に不安のある方はお申し出てください。

また、採血時に不快感や違和感を感じた時には、ご遠慮なくすぐにスタッフまでお申し出ください。